

## 山菜の出荷制限解除に向けた取組

### 1 はじめに

東日本大震災津波による原子力発電所事故の影響により、一関市には、山菜5品目(たけのこ、こしあぶら、ぜんまい、野生わらび、野生せり)に国の出荷制限指示が出され、2品目(野生たらのめ、野生みず)に県の出荷自粛が要請されていました。

平成27年に野生せりが出荷制限解除となり、その後も出荷制限解除へ向けてモニタリング調査を継続してきました。

今年度の一関市での取組と出荷制限解除の状況について、ご紹介します。

### 2 取組内容

#### (1) たけのこ

平成29年春に、一関市旧東山町、旧大東町及び旧藤沢町でのモニタリング調査で低水準であることが確認され、平成30年から令和元年夏の検査の結果、たけのこ74検体について放射性物質濃度が低下傾向・低水準であることが確認されました。

そして、令和2年4月24日一関市旧東山町、旧大東町及び旧藤沢町において国の出荷制限が一部解除となりました。

ゴールデンウィーク明けには、たけのこのシーズンが始まるため、生産者への説明会を開催するのが難しいことから、事前の一関市と集荷・販売のスキームを検討しました。

生産者の自主検査を円滑に行うため、産直が生産者の希望をとりまとめ放射性物質測定依頼を行うほか、測定結果が基準値以下であれば集荷台帳に登録するなど、解除後の速やかな集荷販売体制に向けて支援しました。

また、県は出荷前検査と定期的検査を担当していることから、出荷前検査では速やかに検体の採取を行い、出荷が可能となるよう産直と連携して取り組みました。

#### (2) 野生わらび

令和元年から令和2年の春から夏の検査の結果、野生わらび80検体について、放射性物質濃度が低水準であることが確認され、令和2年11月16日一関市全域で出荷制限が解除されました。

野生わらびは、発生シーズンまで時間があること、産直への出荷量が多いことが予想されることから、一関市と産直向けの説明会の開催を計画しました。

令和3年2月8日、一関市各支所の担当者と事前に打合せ、春以降の各種検査、集荷・販売のスキームを確認し、同年3月11日産直向けの説明会を開催しました。参加者からは検査や検査結果通知など速やかな対応を要望されたので、迅速に対応していくこととしました。



### 3 おわりに

今後も出荷制限を受けている山菜のモニタリング調査を継続し、放射性物質濃度の低減傾向を確認し、出荷制限解除に向けて取り組み、農林家の所得確保に向け支援していきます。